

ペットはルールを守って飼いましょう

共生のためのモラルとマナー

犬や猫などのペットに関する苦情が数多く寄せられています。ルールを守らない一部の飼い主のために、多くの方が迷惑しています。本来かわいいはずの犬や猫までもが嫌われてしまいます。人とペットが共生できる社会の実現に向け、飼い主がルールを守ることが大切です。

生活環境課
☎995-1816



犬の登録・狂犬病予防注射を

犬を飼うためには登録し、年1回の狂犬病予防注射を受けなければなりません。室内で飼う場合でも、登録と注射を済ませてください。飼い犬には、登録鑑札と注射済票を付けるようにしてください。

犬が万一いなくなった場合には、生活環境課と東部保健所衛生業務課（☎920-2102）、裾野警察署（☎995-0110）の3カ所へ速やかに連絡してください。

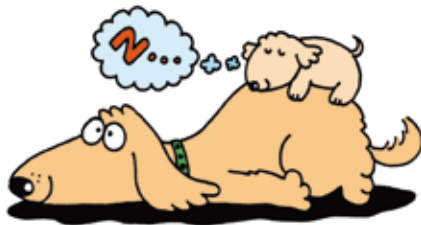
ふんの始末と放し飼いに注意

散歩のときに、近所の畑や道路沿いの植え込みにふんをさせたまま、片付けない方はいませんか？排せつを家で済ませる習慣をつけるか、外でふんをした場合には、必ず飼い主が責任を持って片付けてください。

また、犬が人をかむ事故が起きています。必ずおりに入れるか、丈夫な鎖や綱でつなぎましょう。散歩のときには、必ずリードを付けて放さないようにしてください。

ペットは一生涯大切に飼いましょう

動物愛護管理法では、動物がその命を終えるまで適切に飼うことが明記されています。動物の遺棄・虐待は犯罪です。ペットは、人に癒しを与えてくれます。命ある動物の愛護と適正な飼育へ理解があれば、人生をより豊かにしてくれる存在となります。



飼い主のいない猫はTNRで

生活環境課では、飼い主のいない猫対策として、ボランティアや地域住民との協働で、TNRを行っています。TNRとは、次の頭文字です。

T=Trap (トラップ) …… 猫を捕獲器などで捕獲
N=Neuter (ニューター) … 去勢・不妊手術の実施
R=Return (リターン) …… 手術後、元の場所へ戻す

去勢・避妊手術をした猫は、耳カットを施し、未実施の猫と区別しています。TNRを行った猫は、その後もエサとトイレを適切に管理し、地域の猫として寿命まで見守ります。野良猫の寿命は一般的に4～5年といわれています。手術後も引き続き適切に管理することで、野良猫は自然と減少していきます。

皆さんの理解と協力が得られる地域では、TNRを進めることも検討していきます。熱意あるボランティアの募集も随時行っています。



安易なエサやりがトラブルに

お腹をすかせた猫を見かねてエサを与えると、その場を離れなくなります。また、隣近所とトラブルになりかねません。エサを与えるだけでなく、食べ残しやふんの始末までしっかり行う必要があります。